

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|----------------|------------------------------|----|--------|----|
| ○事業所名 | Harmony天童 | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年 12月 16日 ~ 2026年 1月 15日 | | | |
| ○保護者評価有効回答数 | (ご利用家庭数) | 21 | (回答者数) | 17 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年 12月 16日 ~ 2026年 1月 15日 | | | |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 7 | (回答者数) | 7 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 1月 15日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|--|
| 1 | 施設環境、職員の配置数・専門性について、概ね高い評価をいただいております。 天童事業所は、曜日によってさまざまな活動を体験できるプログラムを用意しています。 | 天童事業所では、ひと月の活動を1単元ととらえ、毎週同じ活動を行う中で「前回出来なかった事ができるようになった」「前回より一人で出来ることが増えた」「次はもっと難しいことをやってみたい」というお子様のスキルアップや挑戦したい気持ちを引き出すプログラム作りを目指しています。 | 活動の中で、様子をよく観察し、活動の感想や次回への要望を聞き取り、お子様一人ひとりの伸びを把握し、次週のプログラム作りに反映させています。 |
| 2 | 施設環境、職員の配置数・専門性について、概ね高い評価をいただいています。 天童事業所は、広さと部屋数に余裕があり、活動やお子様の状況に合わせて快適な活動空間と静養空間を分けて作ることができます。 | 活動の内容や小グループに分かれての活動、個室活動、必要に応じた静養室を準備するなど、快適に過ごしてもらえるよう、その日のお子様の気持ちに合う空間を用意しています。 | 個別の配慮が必要なお子様には、日々の活動の様子や学校との情報共有を基に、環境設定をこまめに変えています。安心して過ごせる場所を用意することで、本来の力を発揮できる姿が見えてきます。 |
| 3 | | | |
| | 事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
| 1 | 非常時等の対応について、評価が大きく分かれていることがアンケート結果から分かりました。 非常時の安全な行動と早期の原状回復に向けて、マニュアルの作成とそれに基づいた避難計画も実施しておりますが、報告の方法が保護者様に伝わりづらかったと思われます。 | 玄関への掲示・ご案内文書などに、分かりやすさや見やすさの工夫が足りず、認知されにくい状況だったと思います。 | マニュアルの見直しは都度行われております。避難訓練の報告とともに、玄関の掲示・案内などに分かりやすく見やすい工夫をいたします。 |
| 2 | 職員の異動があると、お子様や保護者様から寂しいとお言葉をいただいています。また事業所と作り上げた信頼関係が弱まるのではとご心配をおかけしています。 | 法人として、職員の異動は避けられないものです。 | 法人として、職員の異動は避けられないものです。 支援力があがるきっかけにもなると考え、お子様と職員で次の信頼関係を作り上げていく機会にしていきます。 また、事業所職員全員がお子様のニーズを共通理解し、支援できるような体制作りに取り組んでいます。 |
| 3 | | | |

保護者向け 放課後等デイサービス評価表（集計結果公表）

一般社団法人青葉の杜 Harmony天童

配布：21枚 回収：18枚 回収率：86%

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 無回答 | 合計 | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|----------|----|--|----|-----------|-----|-----|----|-----|------------|
| 環境・体制整備 | 1 | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 17 | 1 | | | 18 | | |
| | 2 | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 17 | 1 | | | 18 | | |
| | 3 | 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか | 18 | | | | 18 | | |
| 適切な支援の提供 | 4 | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画Ⅰが作成されているか | 17 | | 1 | | 18 | | |
| | 5 | 活動プログラムⅡが固定化しないよう工夫されているか | 15 | 2 | 1 | | 18 | | |
| | 6 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 5 | 7 | 6 | | 18 | | |
| | 7 | 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 17 | 1 | | | 18 | | |
| | 8 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができるているか | 18 | | | | 18 | | |
| | 9 | 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 18 | | | | 18 | | |
| | 10 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 4 | 9 | 5 | | 18 | | |
| 保護者への説明等 | 11 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 16 | 2 | | | 18 | | |
| | 12 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 17 | 1 | | | 18 | | |
| | 13 | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか | 13 | 5 | | | 18 | | |
| | 14 | 個人情報に十分注意しているか | 18 | | | | 18 | | |
| 非常時等 | 15 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか | 12 | 5 | 1 | | 18 | | |

事業者向け 放課後等デイサービス評価表（集計結果公表）

一般社団法人青葉の杜 Harmony天童

配布：7枚 回収：7枚 回収率：100%

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 無回答 | 合計 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|----|---|----|-----------|-----|-----|----|---|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 6 | 1 | | | 7 | 個室対応のお子様がいるときは足りない。 事務所・キッチンも使っている。 部屋数もあって良い。 各お子様が希望する活動を行いやすいスペースを確保できている。 →各職員の意見を受け止め、限りある部屋数でどう個別対応していくかを日々検討しています。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | 4 | 1 | 1 | 1 | 7 | 各部屋に人員を配置できるような人数が確保できている。 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 6 | 1 | | | 7 | |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | 6 | 1 | | | 7 | |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 7 | | | | 7 | |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 7 | | | | 7 | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 5 | | 2 | | 7 | |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 4 | 2 | | 1 | 7 | 昨年よりは全体の研修が少ないように思った。 →次年度の研修について検討をしてまいります。 |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 7 | | | | 7 | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 5 | 2 | | | 7 | ツールを用いたアセスメントは十分ではないかもしれない。 →アセスメントツールの使用について検討をしてまいります。 |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 7 | | | | 7 | |
| 適切な支援の提供 | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 4 | 1 | 2 | | 7 | あえて週ごとのプログラム・月ごとのプログラムを固定している所を作っている。 季節ごとの行事に合わせた活動をミーティングで工夫している。 同じ内容のプログラムを行う際は利用児童が「自分でできることがふえた」感じられるように工夫している。 同じ活動を繰り返すことで本人のできることをふやしていくとのことで固定にしている。 |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 6 | 1 | | | 7 | |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか | 7 | | | | 7 | |

| | | | | | | | |
|--------------|--|---|---|---|---|---|--|
| | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 7 | | | | 7 | |
| | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 7 | | | | 7 | |
| | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 7 | | | | 7 | |
| | 定期的にモニタリングを行い、放課後等ディサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 7 | | | | 7 | |
| | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか | 7 | | | | 7 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 7 | | | | 7 | |
| | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | 7 | | | | 7 | |
| | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 3 | 2 | 1 | 1 | 7 | 分かりません。 みたことがないのでわかりません。 →該当する方のご利用について打診があった場合は、各関係機関との連携を行ってまいります。 |
| | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 4 | 2 | 1 | | 7 | 事例がありません。 →今後該当する事例が発生した場合は、各関係機関との連携に努めます。 |
| | 学校を卒業し、放課後等ディサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 6 | | 1 | | 7 | 機会がありません。 →今後該当する事例が発生した場合は、各関係機関との連携に努めます。 |
| | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 5 | 1 | 1 | | 7 | |
| | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 2 | 1 | 4 | | 7 | |
| | (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか | 6 | | 1 | | 7 | |
| | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 7 | | | | 7 | |
| | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 6 | 3 | | | 9 | わからない。 →ペアレントトレーニングについて、職員間で認識を深めてまいります。 |
| | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 7 | | | | 7 | |
| | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 7 | | | | 7 | |

| | | | | | | | |
|------------|--|---|---|---|--|---|--|
| 保護者への説明責任等 | 32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 1 | 2 | 4 | | 7 | 保護者会でなく、参加行事での交流は見られた。 保護者同士のつながりをもちやすいような場面を今後作れたらと思う。 →今後も事業所内で出来る保護者様との交流の場を作つてまいります。 |
| | 33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 7 | | | | 7 | 実際にあった苦情にも迅速に対応することができた。 |
| | 34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 6 | 1 | | | 7 | 活動の様子を目で見える形でお伝えすることが難しく、十分でないようを感じる。 →職員間で検討し、日々の活動のご様子を分かりやすくお伝え出来るように改善してまいります。 |
| | 35 個人情報に十分注意しているか | 7 | | | | 7 | |
| | 36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 7 | | | | 7 | |
| | 37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 2 | 1 | 4 | | 7 | 利用児童の負担も考え、保護者様や他事業所との交流にとどまっているが、招待することや他者との関わりに慣れてから招待したいと思う。 |
| | 38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 7 | | | | 7 | |
| 非常時等の対応 | 39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 7 | | | | 7 | |
| | 40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 7 | | | | 7 | |
| | 41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 7 | | | | 7 | |
| | 42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 7 | | | | 7 | |
| | 43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 7 | | | | 7 | |